

辰野町地域おこし協力隊

2024年度 活動報告

町の文化拠点開発事業

高木しず花



店舗に求められる機能
協力隊としての課題

あれとこれを

多世代にとっての 商店街の遊び場	アート・エンタメが 日常的に存在する	トビチ美術館の インフォメーション ギャラリーショップ
『本屋があるまち』 にする	素敵なまちだ！ なにかできそう！ 共創人口の増加	お土産が買える場所
商店街の案内所	クリエイターの ワークスペース	町内外の人たちの 交差点

掛け合わせて

私が作りたい場所
住みたい辰野町の妄想

文化公園 目地ができると起きそうな“いいこと”

クリエイターが打ち合わせをしている横で
おばあちゃんたちがおしゃべりをして、
地下ではおやつタイムを楽しむ人の隣で
小学生がたちが宿題をする いろんな人が
それぞれに過ごす場所

インスピレーションのもとになる雑誌
旅行した気分になれる写真集
気軽に芸術鑑賞ができるアートブック
やさしい世界に浸れる絵本
本がある町は想像する力に溢れる町

店内に下辰野商店街の大きなマップを
掲示。既存店、新店両方の情報が見え
るようにする。SNSのQRコードやショ
ップカードをまとめて見られるように
する。イベント情報などもまとめる。
トビチ商店街についての冊子や解説を
掲示。興味を持った方に、トビチに関
わる人たちが店舗の説明・解説をす
る。場合によってキーパーソンを紹介
したり。(冊子は自主制作予定) また、
「協力隊が常にそこにいる場所」を作
ることで、協力隊の活動の説明をする
場所としても有効。町の人たちが協力
隊にアクセスしやすくなる。

トビチ美術館が目指す アー
トが日常にある町 美術に価
値を感じる人たちが 楽しく
暮らせる町



カウンターはコンセント完備！長居歓迎！
クリエイターが長居してくれると、目地を
訪れた人たちに「この町は面白い仕事を」
している人がたくさんいる、という印象を
持ってもらえるはず

完成した作品はもちろん、公開制作の様態を鑑
賞してもらうため会期が長いトビチ美術館。点
在する会場の案内、また今後はトークイベント
やライブイベントのチケットを販売したり、小
作品の販売をしたりなどギャラリーショップと
しての機能も持ちたいと思います。地下の壁
をギャラリースペースとしても利用できま
す。また、什器を移動させることにより小劇
場のような広いスペースを確保することがで
けるため、公演をうったり、アーティストによ
る制作系のワークショップをしたり。そうい
ったイベントを開催していくことで、単純なカフ
ェとしての印象を薄くしていく。

素敵な本、アート雑貨、民芸品、町の人たちの
手工芸、形で持ち帰れる辰野町の思い出。
元文房具店ということもあり、普段より少しデザ
インされた「いい感じ」の文房具も扱う予定。

これまで辰野町を訪れた人は、最初にどこに
行けばいいの？という問題があった
町の案内所の機能持たせることで、辰野に行っ
たけど何なかった。誰にも会えなかった。という
切ない状況を減らすことができる
いろんな人が行き交う公園の中で、おばあちゃん
×高校生、町外の方×町内の方などが出会うこと
による化学反応を期待。

コンセプト

店舗名を「文化公園目地」と決定。文化のサードプレイスとしての役割を目指す。

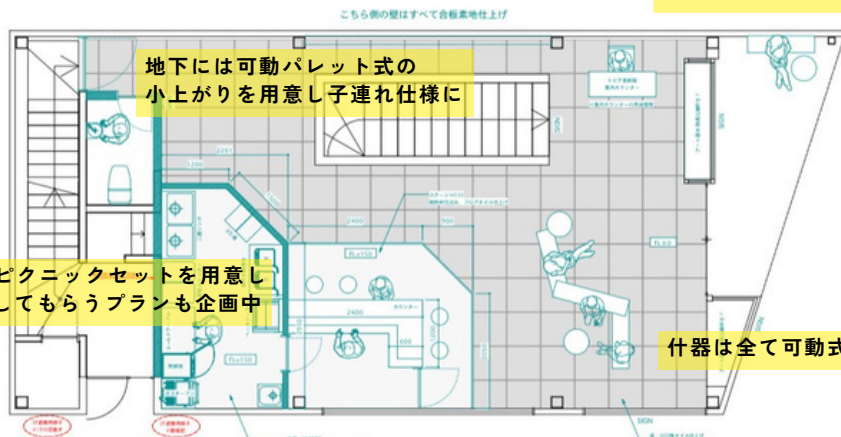
文化公園目地

公園の中にカフェスタンドがある
ようなイメージ。飲食をする人、
雑貨を選ぶ人、時間潰しの人、イン
スピレーションを求める人、本を読
む人、待ち合わせをする人、仕事を
する人、帰り道の小学生... それぞ
れの人々が、それぞれの目的で自
由に出入りして好きに過ごすことが
できる場所。ワンオペでの営業な
こともあり、可能な限りセルフサービ
スにする、入口に案内表示をつけ
「いらっしゃいませ」的な案内をし
ないなど、だれか主がいる店では
なく、みんなの共有物としての公園
のような店を目指します。

1F/レジカウンター、客席、アート雑貨、民芸品、ショウウィンドウギャラリー、トイレ

B1/客席、文房具、本、バックヤード

犬のさんぽをしていた近隣の方から
テラス席を、とリクエストがあった



カウンター席はPCワーカーの
リクエストに応えコンセント完備

店舗を作る

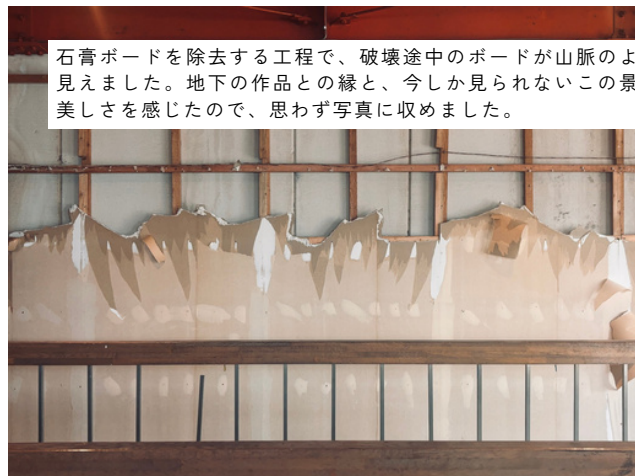
旧桂林堂の1階、地下1階を店舗として使用するためDIYによる改修工事を開始。

【主な作業】

- ・ 壁紙、壁石膏ボード撤去
- ・ フロアシートの除去、接着剤の除去
- ・ 残置物の撤去と処理（自宅で燃やす）
- ・ 床コンクリート防塵塗装
- ・ 壁ベニヤ貼り、汚れ防止シリコン塗装
- ・ キッチン内、トイレ内塗装
- ・ 地下の古材フローリング貼り、壁塗装
- ・ 二重サッシ作り、断熱

【今後の作業】

- ・ カウンタータイル貼り
- ・ 開口部への扉の設置
- など



石膏ボードを除去する工程で、破壊途中のボードが山脈のように見えました。地下の作品との縁と、今しか見られないこの景色に美しさを感じたので、思わず写真に収めました。

MMstudioはじめ、齋藤電気さん、山本設備さん、新村産業さん、孔明木材さん、遠藤産業さん、吉江プロパンさんに材料や工事の発注しました。

旧桂林堂の地下にあったトビチ美術館2023にてkaralynさんが制作された辰野町の山々と蜚の作品は、大きなものは撤去、壁画の一部を残し、小窓のようなイメージで額装します。デザインの着想は「仮設住宅」です。学生時代に足を運んだ東北のボランティアの現場で見た思い出の風景です。自身の地域コミュニティ作りに対する熱意が生まれた原点の景色です。

作業をしていると商店街を歩く方が声をかけてくれます。これを、未完成の状態でのみ発生する関わりしろだと考え、いつまでも完成しない仮設状態を保つデザインとなっています。

キッツキドーナツ

キッチンカーでドーナツの販売と新店舗の広報活動を行う。

旧伊那バス洗車場にて月5回ほどキッチンカーをオープン。1回あたり60から80個のドーナツを販売しました。毎月足を運んでくれるリピーターの方もいます。新店舗をきっかけに商店街に興味を持ってくれる方もいました。店舗よりもローコストで起業できるキッチンカーに興味を持ってくれる小商い志望の方にもたくさん会いました。



川島のご近所の方が、ご友人たちの集まりにドーナツを持って行ってくれたり、農村RMOの会合でアイスブレイクのためにドーナツを販売したり、トークイベントのついでにドーナツを出したりしました。



冬季は新オープンしたシェアキッチン16factoryにて月に3回ほどポップアップの喫茶店を営業。ドリンクを販売したことで、店内での滞在時間が長くなり、ドーナツを求めて来てくださった町の皆さんと新店舗についてリサーチしながら会話をする時間を作ることができました。

イベント出店

町内外でのマルシェへの参加、各地の協力隊とのつながりを作る。

キッチンカーの出店先では必ず「店舗はどこにありますか？」と聞かれるので、その際に辰野町についてやトビチ商店街のことなどを紹介するよい機会となりました。



▲ナワメマーケット

2024年の出店一覧

7/21 どん田バレー会場
9/6 小野・たのめ市
9/8 トビチ美術館アーティストトーク
9/27 根羽村・ネバーデイ
11/10 長和町・ナワメマーケット
12/1 十月十日ウィンターフェス
1/26 カルチャーマーケットecho

▼町内の古着屋「十月十日」の店主の原田さん主催のウィンターフェスにて、原田さんリクエストのチロルの郷土菓子「キアヒル」を限定販売。他国の文化を楽しむ。予約制ウィンテージアクセサリーショップ「nookshop」店主の塚原さん主催の古着フェスに出店。



▲ネバーデイ

他地域の協力隊が主催するマーケットイベントや、ハロウィンイベントにも出店。情報交換や各地域のまち作りの様子を体感することで、刺激をたくさん受けました。

トビチ美術館2024 森と空き家の分水嶺

4年目となるAIRプログラムの事務局補助



【トビチ美術館2024】地域の課題にも資源にもなる「分水嶺」、「空き家」と「森」に着目しアーティストが滞在制作、下辰野商店街ほか3エリアを観客が回遊する展示会を開催。暮らしの中にアートがある豊かな未来を作る。「空き家の幸」を自由に使って、町民との出会いで生まれる辰野町でしか見られないアート作品とその制作過程を楽しむことができるAIRプログラムとなっている。

4年目となるトビチ美術館では、審査員を務めました。また、主催の〇と編集社の皆さんに混ざって材料の調達、空き家の片付けなどのアーティストサポートとSNSの運用をしました。



信州豊南短期大学のご協力のもと、大学の裏山にはブックアーティスト・太田康友さんの作品が制作された。(作品はまだ未完成)森を切り拓き、ウッドデッキが作られた。太田さんはご自身のメインとなる「林業芸術社」の活動の合間にこの森で作品を完成させるまで作業を行う予定。



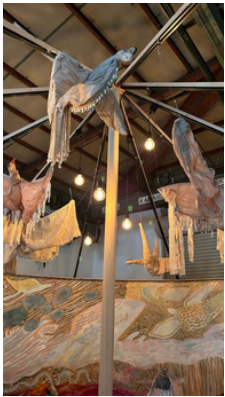
▲たこ焼きパーティー



◀蕎麦打ち体験をするアレックス

視察・見学

美術館、演劇、書店、カフェなど



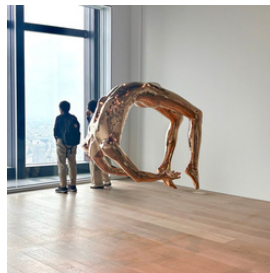
都内の美術館やギャラリーをはじめ、山梨県北杜市、埼玉県所沢市、岐阜県多治見市などの美術館、書店、アートセンターへ視察、見学に行きました。ブックカフェ、文具店、陶芸用品店なども訪れ、店舗づくりの資料を集めました。また、小劇場での観劇、音楽鑑賞、パレエ鑑賞など、辰野町で置き換えると安藤精麦ほどの広さの会場での演劇上演や、マイクを使わない朗読劇など、さまざまな手法で上演される演劇を鑑賞し、町内での演劇上演を模索する時間となりました。



ライティング、展示什器、BGMなど、店舗づくりのヒントをかき集めた。離島といったローカルで制作されたアートにも注目。



国立新美術館、ワタリウム美術館、銀座グラフィックギャラリー、森アートセンター、MOT、小海町高原美術館、GASBOMギャラリーKADOKAWA武蔵野ミュージアム、アーツ前橋、東京オペラシティギャラリー、東京都美術館、水戸、KAKIMORI、ROUTEBOOKS、文喫、栞日、かもめBOOKS、銀座伊東屋、など



来年度の予定

店舗オープン、町のことをもっと知る、協力しながらイベントを開催

文化公園 目地のオープン

3月中
キッチン設備導入
配管工事
カウンタータイル貼り

4月上旬
キッチン完成次第保健所確認
プレスリリース

4月中～下旬(20日ごろ目安)
プレオープン期間から
グラデーションでオープン
ショップカード作成
看板設置
備品買い出し

商店街紹介カード作成

下辰野商店街、トビチ商店街の
店舗紹介のための町内マップを
目地の壁に貼る
→既存店、新店に声をかけ、お
店の紹介カードの作成を提案
する
→完成次第カードを掲示

※カードは高木の自費出版
※提案は全店にするが、希望し
た店舗のみ掲示

随時情報を更新しに来てもらえ
るように書き込みできるスペ
スを設けるなどする

情報更新のために店主が目地を
訪れることで既存店と新店の交
流をはかる

目地でのイベント企画

WSにできそうなこと
・什器づくりWS
・カフェの椅子づくりWS
・こどもドーナツカフェ

地下ではクラフト系WSも可能

また、本屋という場所を活かし
・読書会
・ビブリオバトル
・冊子づくりラボ

町民が参加できるような企 画
を開催する。

手工芸品リサーチのための フィールドワーク

目地で町内の方の手工芸品を販
売したいと思っています

テーブルクラフト
糸編みのストラップ
ほうき
古布トートバッグ
陶芸作品

こういったものをパッケージン
グしてブランド化 町内の方の
手仕事による小さな 収入源を
生み出します。 またお土産品
として持ち帰って もらうこと
で、町外の方がいつ でも辰野
町を思い出せるような ものが
販売できたらと思います